

○ 調査問題

【ほかの国で想像されている、月のもようの形】



バケツを  
持っている女の子



カニ



カエル  
(白い部分を見る)



ワニ



かみの毛の  
長い女の人

**調べてみよう!!**  
このほかにも、月のもようを、日本とちがういろいろなものや形に想像した国がたくさんあります。

(3) 次の【ほかの国で想像されている、月のもようの形】は、ほかの国の人々が、月のもようを見て想像したことをまとめたものです。それぞれの形が、どの国で想像したものなのかを調べるとしたら、あなたはどの形について最初に調べたいですか。また、どのようにして調べますか。調べたい形を一つ選んで書き、調べ方を、あとの〈注意〉をよく読んで書きましょう。

【林さんの発表の様子】

① わたしは、世界の「月のもようの見え方」について調べたことを発表します。

② みなさん、世界中の人々が「月のもよう」をいろいろな形に想像していることを知っていますか。

③ いなかのおじいちゃんの家に行ったとき、月が真ん丸でとてもきれいでした。そして、おじいちゃんが「日本では、月の表面の黒い部分を見て『十五夜のお月さま』と教えてくれました。言われてみるとたしかに、うさぎがもちをついているように見えました。

④ そこで、ほかの国では、月のもようを見て、どのようなもの姿や形を想像していたのか興味を持って、どのように調べてみることにしました。

発表は続く

〈注意〉  
1 二段落で、三行以上、五行以内で書くこと。  
2 一段落目には、「ほかの国で想像されている、月のもようの形」から、あなたが調べたい月のもようの形を一つ書くこと。  
3 二段落目には、調べる方法を書くこと。

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の趣旨】
- 条件に沿って自分の考えを決め、情報の集め方を書く。
- 【問題の内容】
- 調べたい月のもようの見え方と、調べ方を二段落構成で書く。

○ 誤答分析

解答類型	①正答 内容○ 形式○	2 内容○ 形式× (二段落)	3 内容○ 形式× (その他)	4 内容× 形式○	5 内容× 形式×	無解答
解答率	21.2%	11.7%	0.6%	14.9%	33.4%	18.2%

- 書く内容は理解しているものの、段落構成に理解が及ばない解答や二段落にしているが1字下げができていない等、形式面での誤答を合わせると、全体の12.3%だった。
- 調べる方法が不適切な解答の間違い、つまり内容に不備がある解答は、14.9%であった。「調べる方法」として適切でないものや、「調べる方法」に踏み込まず、選んだ理由を述べるにとどまっている解答も多くみられ、設問を正しく理解する力、自ら考えて解決する力が求められる内容であった。
- 内容・形式ともに不十分な解答は、全体の33.4%であった。無解答率と合わせると、全体の半数を占めている。問われていることを正しく理解し、自ら考えて解決する力の育成が求められる。

## ○ 指導上のポイント

### 目的や意図に応じて、調べたことを整理して書く指導

学習活動① 取材した中から必要な事柄を選び、何を書けばいいか話し合う。

【学習指導要領 B書くこと アイ】

**「こづゆ」についての取材メモ (5班)**

- ・こづゆは会津地方の郷土料理なので、みんなに知ってほしい。
- ・ほした貝柱でだしをとる。
- ・豆腐、にんじん、しいたけ、さといも、きくらげなどをにる。
- ・お祭りや正月、けっこん式等、おめでたい日に出される。
- ・こづゆという名前は、「小吸物」から変化したもので、かつては「かいつゆ」とも呼ばれていた。

郷土料理をしようかいする  
レポートを作ろう

めあて  
友だちに、分かりやすく伝えるためには、何を書けばいいかな。

みんなは、「材料」や「作り方」を知りたいんじゃないかな。

「調べた理由」は、最初に書こう。

名前の由来

作り方

調べた理由



取材した事柄の中から、同じような材料を比較して、どちらが書きたい事柄に合っているかを考えたり、読み手が理解しやすいように、事柄ごとに分類したりする活動を通して、自分が伝えたいことを明確にさせることが大切です。

【「授業スタンダード」の視点】:「ペアやグループでの話し合い」で書く視点を焦点化する

学習活動② できた作品を児童同士で読み合い、よりよい書き方を共有する。

【学習指導要領 B書くこと エオ】

先生の添削で終わるのではなく、児童自身が間違いなどを正したり、よりよい表現に書き直したりすることによって、整った文章になることが実感できるようにしましょう。そのために、下書きと推敲後の文章を比べるなどの工夫をすることが大切です。また、振り返りの時間を確保し、学んだ「書き方」のよさを言語化させ、他でも使える力として育てていきましょう。



【「授業スタンダード」の視点】:「振り返りの充実」で何を学んだかを明確にする

## ○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

大きくなったら なりたいもの

1978年

	男子	女子
1	野球せん手	1 ようち園・ほ有園の先生
2	会社員	2 学校の先生
3	商店主 家業をつぐ	3 事む員
4	ぎじゅつ者	4 かんごし
5	公む員	5 商店主 家業をつぐ
6	学校の先生	6 美ようし
7	大工	7 デザイナー
8	医者	8 ピアノの先生
9	機械工	9 歌手
10	自動車運転手	飛行機の 客室乗む員

1978年内閣府調べによる

2006年

	男子	女子
1	スポーツせん手	1 じゅう医 動物し育員
2	医者	2 ようち園・ ほ有園の先生
3	学校の先生	3 バン屋・ケーキ屋 花屋
4	会社員	4 かんごし
5	大学教じゅ 科学者	5 作家・マンガ家
6	けい察官 消ぼう士	6 ミュージシャン 歌手・はいゆう
7	コンピュータ 関係の仕事	7 学校の先生
7	料理人 栄養士	8 スポーツせん手
9	自動車運転手	9 画家・写真家 デザイナー
10	バン屋・ケーキ屋 花屋	10 医者

2006年内閣府調べによる

【出典】  
H28 小学4年 第5回

三 小学生に「大きくなったらなりたいもの」についてアンケートをとりました。二つのアンケートの結果をくらべ、〈注意すること〉にしたがって書きましょう。

〈注意すること〉

- ① 百二十字以上、百六十字以内で書く。
- ② 段落(だんらく)を二つに分けて書く。
- ③ 一つ目の段落には、どちらの年も十位までに選ばれている職業を一つ書く。
- ④ 二つ目の段落には、その職業が三十年たっても人気がある理由を書く。